

文武両道 続くコロナ禍に負けない鹿南生

鹿南タイムズ

発行所
鹿児島県立鹿児島南高等学校
新聞部
鹿児島市谷山中央八丁目4番1号

1面・・・県高校総体結果、「海岸線」
2面・・・「本校は巨大軍需工場跡」続編、論説「日本の自然遺産を守るために」
3面・・・サッカー部48年ぶりベスト4
4面・・・華道部特集、生徒会執行部紹介

2年ぶりの県高校総体 鹿南生大健闘！

鹿児島県高校総体では、普通科、商業科、情報処理科、体育科それぞれの学科に所属する本校の生徒たちが日々の学習とも両立させながら素晴らしい結果を出した。これは、本校生が文武両道を究めていることの証と言えるだろう。日々の努力は大変大きなものだったに違いない。陸上では郷原が三段跳びで、ハンマー投げは田中が大会新記録をたたき出した。また、サッカーは48年ぶりにベスト4を獲得、女子バレー部も3年連続の県大会優勝を成し遂げた。その他にも九州・全国大会出場者が本校から多くでている。引き続き本校生の大きな活躍を期待したい。

(左) 試合前に円陣を組むサッカー部の選手達。彼らの活躍については3面で詳しく扱う。



- 【陸上】
団体 男子 1位鹿児島南 女子 3位鹿児島南
個人 男子「三段跳」1位郷原(3-8) (大会新)「棒高跳」1位吉内(3-8)「100m」(走幅跳) 1位川上(2-8)「4×100m R」1位内田、川上、松嶋、神宮「4×100m R」1位笹原、須田、徳永、川上「ハンマー投げ」1位田中(3-8) (大会新)「円盤投」(砲丸投) 1位三反田(3-7)「やり投」1位浜崎(2-6)「100m H」1位有川(1-8)
【水泳】
個人「200m」「100m バタフライ」4位積(2-4)
【柔道】
団体 優勝 個人「48kg級」準優勝 永尾(3-8) 3位竹山(2-6)「52kg級」優勝 溝口(3-8) 3位山下(2-5)

- 【57kg級】優勝 末吉(3-8) 準優勝 東(3-8)「63kg級」準優勝 中田(2-8) 3位鳥越(2-8)「70kg級」優勝 滝川(1-8)「78kg級」優勝 屋(2-8) 2位木村(2-8)「78kg級」(バドミントン) 松本(1-8)
団体男子 ベスト16女子 ベスト16 個人「ダブルス」2回戦 山元(3-3) ほか
3回戦 山本(3-3) ほか「ダブルス」ベスト16 水流(2-7) ほか
【卓球】
団体男子 2位 個人「ダブルス」ベスト16 満(2-6) ほか「シングルス」ベスト32 汐満(2-6)「シングルス」2回戦 大西(3-2)
【ソフトテニス】
団体 男子 2位 女子 4位 個人「ダブルス」2位 里園(3-4) ほかベスト16 里之園(3-8) ほか「ダブルス」ベスト32 九万田(3-5) ほか
【空手道】
団体男子 1回戦 個人「形」7位 倉岡(1-1)

- 4)「形」6位 神崎(2-4)
【テニス】
団体男子 2回戦 女子 1回戦 個人「ダブルス」3回戦 長野(3-2)「ダブルス」小湊(3-2) ほか「シングルス」2回戦 小湊(3-2)
【弓道】
団体男子 9位 女子 14位 個人 2次予選敗退 駒木(3-3)
2次予選敗退 石野(2-1) ほか
【剣道】
男子女子初戦敗退
【サッカー】
男子 4位 鹿児島南(48年ぶり)
【バレーボール】
女子 優勝(3年連続) 男子 3回戦
【ハンドボール】
女子2位 鹿児島南
【ダンス】
特別賞
【バスケットボール】
団体女子 1回戦敗退 男子 2回戦敗退
【フェンシング】
団体男子 優勝 女子 優勝 個人「フルーレ」1位鎌田(1-8)「フルーレ」「サーフル」2位岡村(2-8)「エペ」2位篠原(1-8)「フルーレ」「サーブル」1位吉松(2-8)「フルーレ」2位山崎(3-8)「サーブル」2位駒路(2-8)



(左) 4×100m Rでの華麗なバトンパス。



努力と栄光の記録

(下) 4×100m Rアソナーがゴールした直後の写真。全力で走りきった様子が伺える。
(左) 県総体団体戦2位を獲得したソフトテニス部。賞状と共に撮影した記念の一枚。



海岸線

皆さんは、あおり運転についてどのくらい知っているだろうか。あおり運転についての罰則が施行されたのは2020年6月であった。その後2020年10月に男性が、あおり運転と暴行により逮捕されるという事件が発覚した。▼あおり運転とみなされる行為には様々なものがある。まず、車間距離を必要以上に詰める、急ブレーキを何度もふむ、不必要なクラクションや幅寄せなどがあげられる。▼罰則の内容は、3年以下の懲役または50万円以下の罰金となっている。私たちが日頃利用している自転車も例外ではない。スマホを使用しながらのながら運転も加えて罰せられてしまう。自転車の罰則は自動車とは違い、15歳以上の利用者が3年以上以内に二度以上の取り締まりを受けた場合、講習を受けなければならない。近頃自転車を利用して人々でイヤホンをしたままやスマホ画面を見ながら乗っている人を谷山周辺で見ることがある。このような行為により危険な思いをするのは私たちだけではない。罰則は被害者を少しでも減らすためのもの。改めて利用方法について考えてみるべきではないだろうか。

「本校は巨大軍需工場跡」続報

田辺航空の疎開工場とみられる新聞記事を発見

鹿児島市は、昭和20年(1945)6月1日に米軍の空襲を受けた。これに先だって田辺航空工業の工場が破壊されることを避けるため、大口に疎開工場を設置していたことを、本紙はこれまで報じてきた。今回、この大口の疎開工場を取材したとみられる、同年7月8日付の『鹿児島日報』の新聞記事を鹿児島県立図書館にて発見した。今回許可を得て、以下にその全文を掲載する。沖縄に上陸した米軍の攻撃で、昭和20年6月末に日本軍の組織的な戦いは終わった。いよいよ米軍が九州に上陸してくる可能性が高まった中で、士気を高めるために記事が書かれたと考えられる。漢字の旧字体は常用漢字に直した。また、読みを加えたり、誤字を修正した箇所、句読点を補った箇所がある。

【見出し】
山間に勝機を孕(はら)んで
疎開工場にあがる凱歌
頼もし決戦の鍵を握る生産陣
見よこの逞(たくま)しい戦力

【某基地にて森本本社特派員】
六、一七の鹿児島市爆撃から早くも二十余日、しかも沖縄戦線重大化のうちに、けふぞ前線の息吹きも強く迎へる大詔奉戴日だ。
南島の戦勢不利は、われらも郷土にひしひしと戦ひの苦難

を寄せてゐる。だが見よ、逞しい焦土にはもう戦力が芽生えてゐるではないか、そこには少しの悲しみも嘆きもない。いや悲しみどころか「これが戦争だ」「最後まで頑張ろう」といふ気概がみちみちてゐる。「これが大東亜建設だ」「明るく生きぬかう」「チエストこれが日本精神だ」「最後まで勝ち抜くぞ」。かうした戦災地の合い言葉にこそ、われらの勝利を約束された姿をまざまざと見るのだ。記者はその勝利への底力の一端を、某基地の疎開工場に求めた。

いま一息というところで勝機を逸がした沖縄決戦の戦訓は、いまさらくどくどしく書く必要を認めない。私は幾度となく「一機でも多くの飛行機を」と入魂機の羽ばたきを待つ基地の叫びをきいた。当局が「戦災者よ速(すみやか)に戦列に帰れ」と叫びかけた文字の羅列も目に残つてゐる。攻勢転移の神機は幾度となくおとつれながらも、沖縄は遂に失陥した。今後はどうなるだらうか。これは敵を一番身近に感ずる聖地鹿児島の誰もが危惧してゐることである。

しかし基地近くを歩いてゐた記者は静まりかへつた林の彼方から聞える凄(すさま)しい機械の音に秘かな危惧も拭ひ去られてしまつた。怒りを含む山々を背に建てられた疎開工場に歩みよると、塗装も新しい新鋭機の部分品がずらりと並んでゐる。日の丸の鉢巻も凛々しい女子挺身隊員は、昨日よりも今日とぐんぐん稼働率を高める工場の脈動に、

勝利のほほえみを地平線の彼方に投げかけてゐる。

人も足りない、空襲の悪悠件もある、未熟者も多いこの工場にこのやうな生産の唸(うな)りが、そして生産の後続力が果しなくつづいてゐるのに瞠目した。

基地が近いこの工場では、荒鷲たちから空の□(注欠字。「叫」か?)ひも聞いた、粗製機で生場(注「戦場」か?)までとべなかつた悲痛な話も

もたらされた。それだけに生産意欲は逞しく盛り上がつて、敵が粘れば粘るほど生産の軋(きし)りは激しくなり、航空決戦の鍵を握る生産陣営は微動もしてゐない。沖縄失陥の報が場内拡声器でうなる機械の音を縫つて耳朶に響いた

とき、全員は拳を握つた。指の皮をむきながらも歯を喰いしばつて増産の手を緩めなかつた工員たちは「これだけ働いても」と汗まみれの額をすりつけて泣いたと言ふ。徹底(注「徹夜」の誤字か?)作業で目もふくれあがつた工員

大口女子挺身隊の活動紹介

ときは、われとわが腕を叩いて力の足りないことを嘆いた。だが戦力蓄積へ「時」を活用した凄(すさま)じい戦ひのあとを顧みる工員達は、だれも怨もうとしなかつた。

脚一つなくとも出撃は不可能なのだ。目にもとまらない

たちは、われとわが腕を叩いて力の足りないことを嘆いた。だが戦力蓄積へ「時」を活用した凄(すさま)じい戦ひのあとを顧みる工員達は、だれも怨もうとしなかつた。

脚一つなくとも出撃は不可能なのだ。目にもとまらない

ほどの細い部分品に隙があつても、飛行機は飛べないのだ。「粗製品を減す」。これが工員や挺身隊員が侵寇を呼号する敵に対する挑戦の言葉であり、一機十殺の荒鷲たちにむくゆる生産魂であつた。

海の彼方に散つた荒鷲に詫

(わび)た全従業員は、堆積した隘路(あいろ)の打開により勝れた所産である入魂機製作に猛然と躍起(けつき)した。量の生産よりも、質の生産に新なる躍動をはじめた疎開工場。本土決戦が痛切に要求する敵必滅の入魂機は、

いかに敵機が来襲しようともけたたましく機械の音をたてて次々におくり出される。「どうか頼みます」耳にこそ聞かえないが、荒鷲たちの切なる声れ(注「声を」の誤字か?)がたちりとうけとめて「大丈夫」とつづやく乙女の顔も晴々としてきた。戦災で両親を喪(うしな)ひながらも家に帰らぬ工員。両親の膝下を離れておそひかかる郷愁も勝つ日までは忘れよう職場にはげむ女子挺身隊員。戦ふ生産の脈動にも勝機が孕(はら)まれてゐる。記者はこの全員特攻の崇高厳肅な前に立つて、こんどこそ本土沿岸の藻屑と消える敵艦船の断末魔を描くことが出来た。それは沖縄作戦でも六百隻

余を撃沈破した結果にてらして、いかに再建に狂奔する敵が再編成の機動部隊で侵寇しようとも、これを受け止めるわが生産陣営の飛躍をこの山の中にまで見たからである。

この記事からは工場の労働者に加え、現在の高校生の年代にあたる当時の中学生や女学生高生が動員された挺身隊員の様子についても触られている。米軍の本土上陸を前に、国民の士気高揚を図る記事である。しかしこれは裏返してみると、人々の間に厭戦気運が漂っていたことを窺い知ることができる。

論説

日本の自然遺産を守るために

ユネスコ(国連教育科学文化機関)の世界自然遺産に鹿児島県と沖縄県にある「奄美大島・徳之島・沖縄の北部・西表島」が登録される見通しになった。国内ではすでに、白神山地・屋久島・知床・小笠原諸島の四つが登録されており、奄美大島などの島は、新たに5件目の自然遺産となる。

自然遺産の勧告を受けた理由としては、世界的にも希少な動物や植物があり、豊かな生物多様性が保たれていることにある。国の天然記念物であるアマミノクロウサギは奄美大島と徳之島だけに、イリオモテヤマネコは西表島だけに生息する。沖縄の北部には、ヤンバルクイナなどの95種類にのぼる絶滅危惧種が存在する。これらがユネスコの評価の対象となったのだ。

日本の自然遺産を守るために私達鹿児島南高校生には何が出来るのか。まず、簡単にできることは、自然を守る為に行っている緑の羽根募金に協力することだ。募金ですること、日本中にたくさん苗木を植えることが出来る。日本に緑が増えることで、今の環境が維持でき、さらに良くなる事が出来るため、絶滅危惧種は減っていくのである。

次に、海や川の清掃活動や植樹などの自然を保護するボランティア活動に参加することだ。ボランティアをすることで自然を守るという意識を高めることができる。そしてポイ捨ても減り、良い環境を作ることができる。また、周囲の人々に自然の大切さを伝えることが出来るのである。

そつた活動が日本政府や地方自治体に届けば、自然を守る為の法律・条例を制定するきっかけともなっていくだろう。

今の自然遺産が後世ですっと受け継がれることを願いたい。

48年ぶりの大快挙！ 鹿南サッカー部 インターハイ予選 ベスト4

1 回戦の相手は、屋久島高校で7対1で南高校の勝利、2 回戦の相手は錦江湾高校で6対0で南高校の勝利、3 回戦の樟南高校戦は2対0で南高校の勝利。4 回戦の対鹿屋中央戦において0対0で迎えたPK戦は松下選手によるスーパーセーブを發揮して何とか5対3で勝利することができた。準決勝の城西戦では1対2で負けてしまったが、畠野

を繋ぎ、最後はスルーパスで抜け出した相手FWに同点ゴールを奪われた。鹿児島南は、活動量の多い東やGK松下を中心とした我慢強い守りから、カウンター攻撃で反撃したが、その後2点を決められ、悔しい結果となった。

試合結果

- 1 試合目
鹿児島南 v.s 屋久島
7 対 1 で勝利
- 2 試合目
鹿児島南 v.s 錦江湾
6 対 0 で勝利
- 3 試合目
鹿児島南 v.s 樟南
2 対 0 で勝利
- 4 試合目
鹿児島南 v.s 鹿屋中央
0 対 0 (PK 戦 5 対 3 で勝利)
- 5 試合目
鹿児島南 v.s 城西
1 対 2 で敗北
- 6 試合目 (3 位決定戦)
鹿児島南 v.s 鹿児島高校
1 対 3 で敗北



今回の県総体でベスト4に輝いた鹿児島南高校サッカー部。新聞部はキャプテンである東愛士さん、マネージャーの白坂珠妃さん、監督の山口大輔先生にインタビューを行った。

Q サッカーサポートをしましたか？
A 基本的には選手たちが練習や試合で飲むものの用意や、先生のボール出しの手伝いなどです。
Q 一番苦労したのは何ですか？
A 第2グラウンドまでの坂道を、毎日自転車に登ることです。
Q 一番の思い出は？
A 県総体の準々決勝です。勝てばベスト4が決まるという試合でPK戦になり、



マネージャー
白坂 珠妃

Q チームをまとめる上で大事にしていることは何ですか？
A 部員一人一人の考えを取り入れ、自分が常に先頭になり行動することです。
Q 相手チームに勝つためにどんなことを意識してプレーしましたか？
A 最初から最後まで声を出し続け、チームで士気を上げることが意識しました。
Q ベスト4と何が残ったことについてどう思いますか？
A 粘り強いサッカーをすることができたこと、練習の中で本代表のキャプテンで、試合中も常に平常心を保ち、的確な判断ができるからです。
Q 理想のチーム像はどのようなものですか？
A ONとOFFの切り替えがしっかりとでき、誰からも応援されるチームです。
Q 鹿屋中央高校です。
A 憧れのサッカー選手とその



キャプテン
東愛士

監督 山口大輔先生

Q ベスト4という成績を残せたことについて感想をお願いします。
A 48年ぶりのベスト4進出には、非常に感動しました。選手が1戦1戦団結し、自分たち自身で考えてプレーすることができた結果だと思っています。4月から監督が交代し、前監督(秋元先生)が積み上げてきたサッカーを、チーム全員がピッチで表現してくれたことに感謝しています。
Q ベスト4を獲得出来たことについてどのような理由があったと思いますか？
A 常に声を出し、気持ちを前面に押し出して戦えたこと、自分たち自身を常に分析し、プレーや戦術を改善できる力が身についていたことだと思います。
Q サッカーを指導する上で意識していることはなんですか？
A 選手自身が自立し、状況を判断し、行動を変えられるチームが理想です。さまざまな戦術を持ったチームに対して、臨機応変に対応できるチームであれば強くなります。
Q 鹿児島南高校サッカー部での感動した場面があれば教えてください。
A 高校総体準々決勝(鹿屋中央戦)のPK戦で最後のキッカー(船平君)がシュートを決めて勝利した瞬間です。選手全員が抱き合っていて喜んでる姿を見て、感動が押し寄せてきました。



華道部



皆さんは華道部をご存じだろうか。華道部は現在、新校舎1階家庭科室で顧問の福島先生、真方先生、外部指導者の中村さんのご指導の下、1年生4人、2年生1人、3年生5人で活動している。新聞部は今回、華道部キャプテンの川添蘭奈さんにインタビューした。

Q あなたにとって花とは何ですか？
A 心が落ち込んでいるときには癒やしを与えてくれて、心が浮ついているときには落ち着かせてくれる存在です。

Q 花との出会いは何ですか？
A ある本のなかにドクダミという花が登場するのですが、どんな花だろうと気になったのがきっかけです。

Q 花の良いところを教えてください
A 角度によって表情などが見え方が変化することです。

Q 好きな花とその花言葉を教えてください。
A カスミソウです。花言葉は清らかな心です。

Q どんな時に花をみたいと感じますか？
A 無心になりたいときにル

華道部員のFavorite flower

・ 寶 本 田 中 瀧 屋 高 吉 伊	・ 咲 春 映 莉 夢 莉 央 愛 結 楓	・ ヒマワリ ・ ドクダミ ・ トルコキキョウ ・ 藤 ユリ ・ カーネーション ・ サクラ ・ ネモフィラ ・ ポピー
---------------------	-----------------------	---

スカスを見ると良いなと思います。

Q 花を生けるときに気を付けていることはありますか？
A それぞれの花や葉っぱの高さが揃わないようにすること、メインのものが見る人の方を向くようにすること、剣山（花を生ける根元の部分）が出来る限り見えないような生け方することを心がけています。

新生徒会執行部 始動

6月14日に行われた第73回生徒会役員選挙で見事当選した新生徒会長と新生徒会副会長2人に選挙に出た理由や志などさまざまなインタビューに答えてもらった。

これから鹿児島南高校の行事や日常生活で生徒のお手本となり、生徒を導いていく柱として期待が高まる。



生徒会長 益村 幸志

Q 生徒会役員選挙に立候補した理由は？
A 髪の毛を変えたかったから。

Q 生徒会長になった感想を教えてください。
A まだ活動していないので実感がない。

Q 生徒会長になって親からなんと言われましたか。
A 「そんなのになって大丈夫？」

Q 今の鹿児島南高校についてどう思うか。
A 伝統を引き継いでいて、いいところばかり。

Q 文武両道がすごい。
A どんな学校にしていきたいですか。

Q 本当の意味で個性をしっかりと出せるような学校づくり。
A 最後に心意気を宣言して下さい

Q どんどん変えていきます！

生徒会副会長 吉永 秀良



Q 生徒会役員選挙に立候補した理由
A 父が小・中学校の時に生徒会長をしており、自分も生徒会長に挑戦してみようと思ったから。

Q 生徒会副会長になった感想
A 本音は生徒会長をしたかったけれど、選ばれたからには頑張りたい。

Q 生徒会副会長になって親からなんと言われたか
A クラスでは真面目な方ではないので、「秀良が副会長に選ばれるような学校の将来が心配」と言われた。

Q 今の鹿児島南高校についてどう思うか
A ・中間服の期間が長い。・平日も部活動で帰りたい。・なぜ「マッシュ」(髪型)がだめなのか分からない。・月ごとの部活動生帰宅時間を守って欲しい。・正力バンの規則を自由にして欲しい。・イベントでのスマートフォン使用を許可して欲しい。・商業科女子も「おだんご」(髪型)をOKにして欲しい。

Q どんな学校にしていきたいか
A 今の長所をさらに良くしていきたい。

Q 最後に心意気を宣言して下さい
A 頑張ります！

生徒会副会長 米 竜太郎



Q 生徒会役員選挙に立候補した理由
A 過ごしやすい学校をつくらうと思ったから。

Q 生徒会副会長になった感想
A まだ生徒会での活動がないので、あまり実感がない。

Q 生徒会副会長になって親から何と言われたか
A 「お前がぁ・・・」と言われた・・・。

Q 生徒会副会長になって先生や友達から何と言われたか
A 「がんばれー」や「おめでとー」と言われた。

Q 今の鹿児島南高校についてどう思うか
A 文武両道ができていて、1日1日がとても充実している学校だと思う。しかし、コロナウイルスの影響に対応出来ない部分があるのでそこを変えていきたい。そして、スポーツイベントをもっと作りたい。

Q どんな学校にしていきたいか
A 演説でも言った通り、過ごしやすい学校にしていきたい。

Q 最後に心意気を宣言して下さい
A 公約を必ず実現させて、学校をもっと良くする。

編集後記

今回は、県総体や生徒会など掲載したい記事が多かったこともあって、4面編成で新聞を作成しました。私達の代では、これまでの新聞にはなかった見出しのデザイン、枠の飾りにこだわりを持ち、見映えのする新聞作成に努めました。本号は最高の出来になったと感じております。これまで協力して下さった先生方、生徒の皆様ありがとうございました。

(川俣)

今回は、4面編成でもスペシャル感溢れる新聞を作ることが出来ました。

この新聞が作れたのはインタビューや新聞作成に関係して下さった方々のご支援の賜です。誠にありがとうございました。鹿児島南高校の活躍をこれからも期待します！

(橋口)

今回も多くの人の協力を得ることで新聞を完成させることが出来ました。突然の撮影などで迷惑をかけてしまった場面もありましたがご協力ありがとうございました。

(口町)